

令和 5 年 8 月 17 日

国土交通省関東地方整備局

常陸河川国道事務所

第 32 回茨城県移動性・安全性向上委員会を開催

～渋滞対策・事故対策について議論します～

常陸河川国道事務所では、茨城県内の渋滞箇所・危険箇所について、円滑な交通と安全を確保するため、関係機関相互の調整を図りつつ、効果的な対策の推進を図ることを目的とする茨城県移動性・安全性向上委員会を設立しているところです。

渋滞対策・事故対策の取り組みについて、様々な分野の方々からご意見を伺うため、以下のとおり委員会を開催いたします。

1. 日時：令和 5 年 8 月 21 日（月）午後 3 時 00 分～
2. 場所：常陸河川国道事務所 2 階会議室
（水戸市千波町（みとしせんばちょう）1962 番 2）
※会場とテレビ会議のハイブリッド方式
3. 議事：移動性関係 1) 渋滞対策の進捗状況整理
 2) TDM 施策について
 3) ピンポイント渋滞対策について
 4) 主要渋滞箇所の今後の取扱いに関する提案
 5) 優先対策箇所の検討
 6) 主要渋滞箇所の見直し
 安全性関係 1) 第 31 回委員会における主な指摘事項と対応
 2) 事故危険区間の対策立案
 3) 新たな事故危険区間【第 7 期】の選定結果

※会場の都合により一般の方の傍聴はできません。

※報道機関の皆様へ 本委員会の撮影は、冒頭から挨拶までとさせていただきます。

※当日の配付資料、議事要旨は、常陸河川国道事務所ホームページに掲載する予定です。

<発表記者クラブ> 茨城県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所

電話：029-240-4061（代表） E-mail：ktr-hitachikouhou@mlit.go.jp

副所長（道路） 石崎 睦（いしざき むつみ）（内線：205）

計画課長 須藤 勝（すどう まさる）（内線：261）

道路管理第二課 建設専門官 竹渕 俊和（たけぶち としかず）（内線：403）

茨城県移動性・安全性向上委員会名簿

	所 属・役 職
委員長	筑波大学 教授
委 員	茨城大学 教授
委 員	(株) 茨城新聞社 編集局長
委 員	茨城県警察本部 交通規制課長
委 員	(一財) 茨城県交通安全協会 事務局長
委 員	(一社) 茨城県安全運転管理協会 専務理事
委 員	茨城県交通安全母の会連合会 会長
委 員	(公財) 茨城県老人クラブ連合会 常任理事
委 員	(一社) 茨城県バス協会 会長
委 員	(一社) 茨城県トラック協会 会長
委 員	(一社) 茨城県ハイヤー・タクシー協会 会長
委 員	茨城県営業戦略部 観光物産課長
委 員	茨城県土木部 道路建設課長
委 員	茨城県土木部 道路維持課長
委 員	東日本高速道路(株) 関東支社 水戸管理事務所長
委 員	国土交通省関東運輸局 茨城運輸支局長
委 員	国土交通省関東地方整備局 宇都宮国道事務所長
委 員	国土交通省関東地方整備局 常総国道事務所長
委 員	国土交通省関東地方整備局 常陸河川国道事務所長
オブザーバー	国土交通省関東地方整備局 道路部

茨城県における渋滞削減に向けた取り組み

茨城県移動性・安全性向上委員会

あらまし

- ・茨城県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくため、「茨城県移動性・安全性向上委員会」※(以下「委員会」)において、継続的に審議を行っております。
- ・平成25年度に、「主要渋滞箇所」への対応方針について公表しました。
- ・平成26～令和4年度は、渋滞対策の進捗状況確認、最新の交通状況による分析、渋滞対策箇所の効果確認、主要渋滞箇所の見直し、優先検討箇所の考え方、ピンポイント渋滞対策について検討を進めてまいりました。
- ・令和5年度は、引き続き渋滞対策の進捗状況確認、最新の交通状況による分析、渋滞対策箇所の効果確認を行うとともに、主要渋滞箇所の見直しおよび優先検討箇所の検討等について検討を進めてまいります。

H25.1 主要渋滞箇所の特定

H25.6 第9回委員会(渋滞)

H25.11 対応方針の公表

委員会(渋滞)13回開催
(第12・16・18・20・22・23・24
・25・26・27・28・30・31回)

R5.8 第32回委員会(渋滞)

取り組みの流れ

平成24・25年度

「主要渋滞箇所」の公表

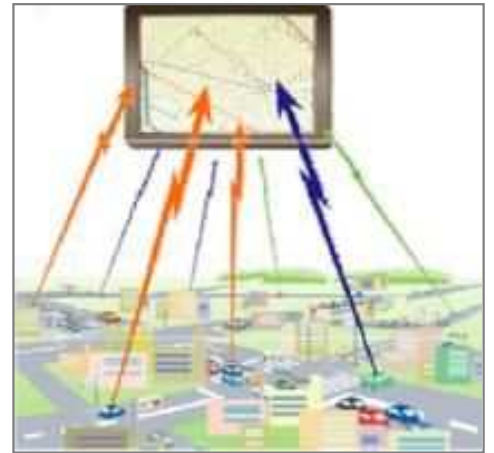
渋滞対策の基本方針の検討

- ・渋滞対策の基本方針を立案し、茨城県移動性・安全性向上委員会で議論

渋滞対策の基本方針の公表

最新のITS技術を有効活用

- ・道路利用者の移動情報（プローブデータ）を収集・分析
- ・速度低下等の道路交通状況を客観的かつ効率的に把握



平成26年度～

渋滞対策の進捗状況確認

- ・主要渋滞箇所を対象に実施した渋滞対策の進捗状況を確認

最新の交通状況による分析（モニタリング）

- ・最新データによる交通状況の確認

渋滞対策箇所の効果確認（フォローアップ）

- ・対策済箇所の対策効果の確認

主要渋滞箇所の見直し

- ・対策により改善がみられる箇所について見直しを実施

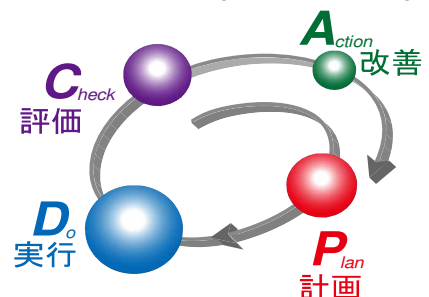
優先検討箇所の検討状況

- ・優先検討箇所の検討状況について、茨城県移動性・安全性向上委員会で議論

ピンポイント渋滞対策

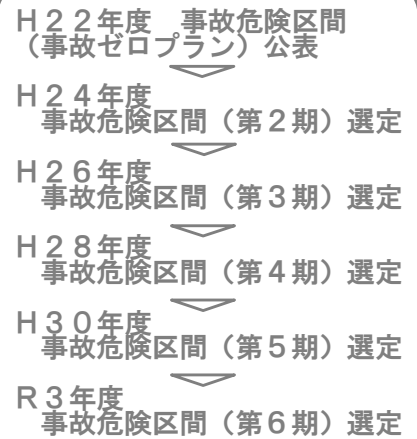
- ・優先検討箇所のうちピンポイント渋滞対策箇所を検討

- ・今後、渋滞箇所や渋滞状況が変わることが想定されることから、主要渋滞箇所やその対応方針について見直しを行って参ります。(PDCAサイクル)



あらまし

- ・茨城県における事故削減に向けた取組として、茨城県移動性・安全性向上委員会（安全性）での議論を踏まえ、「事故ゼロプラン」として、PDCAサイクルに基づき対策の立案・実施・評価・追加対策の検討をしてまいりました。
- ・事故ゼロプランは、事故危険区間を選定するルール（基準）を設定し、現時点までで第1期～第6期の事故危険区間を選定し、検討を行ってきました。
- ・前回の第31回委員会では、対策実施箇所の評価（卒業判定）を行った他、新たな事故危険区間【第7期】の選定基準の決定を行いました。
- ・今回の第32回委員会では、事故危険区間の対策立案について検討を行い、新たな事故危険区間【第7期】の選定をする他、これまでに対策を実施した箇所について、追加対策の検討を行います。



R5.8 第32回委員会（安全性）

- ・事故危険区間の対策立案
- ・新たな事故危険区間（第7期）の選定結果

取り組みの流れ

平成22
～
令和4年

事故危険区間（第1期：事故ゼロプラン）の公表（P）

対策の検討⇒対策の実施状況の確認（D）⇒対策効果分析（C,A）

- ・事故危険区間（代表61区間）について対策を立案し審議
- ・フォローアップルールを確立（対策実施後の対策効果分析、追加対策の検討）

事故危険区間（第2期）の選定・対策の検討（P）

- ・最新の事故データやアンケートにより事故危険区間(第2期)を選定

事故危険区間（第3期）の選定・対策の検討（P）

- ・事故データの他、IT（急減速データ、ヒヤリハットWebアンケート）を活用し、事故危険区間（第3期）を選定

事故危険区間（第4期）の選定・対策の検討（P）

- ・新たな選定指標による事故危険区間（第4期）を選定

事故危険区間（第5期）の選定・対策の検討（P）

- ・最新データで事故危険区間（第5期）を選定

事故危険区間（第5期）のエリアによる考え方・選定

・対策方法の検討（P）

- ・生活道路を含めたエリアでの事故データを活用した事故危険区間（第5期）の選定方法を検討

事故危険区間（第6期）の選定指標の検討・事故危険区間（第6期）の選定（P）

- ・事故危険区間（第6期）の指標の決定・事故危険区間（第6期）の選定

事故危険区間（第2期、第3期）（H28・H30対策）の対策実施状況の確認（D）

・対策効果分析（C,A）

- ・事故危険区間（第2期、第3期）（H28・H30対策）の対策実施状況の確認、対策効果の分析（対策完了判定・中間評価）

事故危険区間（第7期）の選定指標の検討（P）

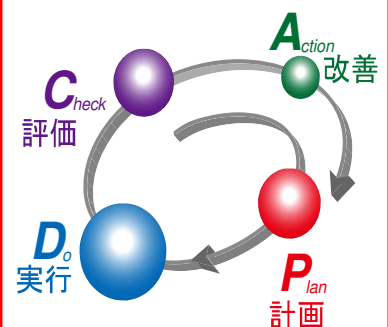
- ・事故危険区間（第7期）の指標の決定

事故危険区間（第1期、第2期、第3期、第4期）対策の実施状況の確認（D）・対策効果分析（C,A）

- ・事故危険区間（第1期、第2期、第3期、第4期）の対策実施状況の確認、対策効果の分析

- ・対策を実施した事故危険箇所については継続的に事故発生状況のモニタリングを行い、対策効果を分析、必要に応じて追加対策の検討を行っていきます。

（PDCAサイクル）



令和5
年度

第32回委員会

第31回委員会における主な指摘事項と対応

事故危険区間の対策立案(P)

新たな事故危険区間【第7期】の選定結果(P)